記載例を参考に意見ごとに記入してください。

1. 「見出し」には、以下のA. 対策の主要項目の方向性（各論）①～⑬　と　B.横断的な5つの視点　に該当する項目を記入してください。
2. 新たな項目がある場合はその他として記入してください。
3. **対策の主要項目の方向性（各論）**

①実施体制　 ②サーベイランス 　③情報収集・分析 　④情報提供・共有、リスコミ 　⑤水際対策 　⑥まん延防止 　⑦ワクチン 　⑧医療　 ⑨治療薬・治療法　 ⑩検査　　⑪保健 　⑫物資 　⑬国民生活・国民経済
⑭その他（自由記載）

1. **横断的な5つの視点**

Ⅰ.人材育成 　Ⅱ.国と地方自治体等との連携 　Ⅲ.DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進 　Ⅳ.研究開発への支援　 Ⅴ.国際的な連携
Ⅵ.その他（自由記載）

【記載例】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 意　　見 | 項目 | ⑧医療 |
| 見出し | 平時の医療体制確保に対する財政措置 |
| 概　要 | 感染症危機に対応するためには、平時からの備えの充実・維持が必要であり、そのための財源については診療報酬ではなく、整備内容や状況に応じて補助金等により措置されることが必要。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 意　　見 | 項目 | Ⅲ.DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進 |
| 見出し | 健康・医療データの活用に関する社会的コンセンサスの醸成 |
| 概　要 | 医療ＤＸにより得られたデータが適切かつ柔軟に利活用できるような社会的コンセンサスを得ることが必要。 |

提出先：日本医学会連合事務局（survey@jmsf.or.jp）

提出期限：2024年2月13日（火）

提出日：2024年　　　月　　　　日

学会名

【回答フォーマット】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 意　　見 | 項目 |  |
| 見出し |  |
| 概　要 |  |

追加意見がある場合は、適宜ご追加下さい。